今より＋１！ ～一歩先を考える～

香川県立高松北中学校２年団
令和５年１１月号

人権について考える！～ハンセン病学習を通して～

10 月が終わり 11 月になろうとしています。10 月のメインの学習は「ハンセン病学習を通して自分たちに何ができるのかを考える」でした。10/2(月)には人権委員と庵治小学校出身生徒の計 11 名が「大島青松園」を訪問し、ハンセン病回復者の方から直接お話をうかがいました。ハンセン病についての歴史、国の法的措置などを詳しく学習し、さらには、ひと昔、どのような差別があったのかなども詳しく知ることができました。その中で現在、育児に奮闘中で約 20 年前の小学生の頃、当時大島への研修で訪れた方々の案内をしていた、「岡田佐知さん」をお招きして、青松園の当時の様子や、回復者の方と直接接する中で感じていたこと、大人になって、今現在思うことなどをお話いただきました。岡田さんご本人は、ハンセン病のことや大島青松園のことを啓発活動するのは初めてだったそうですが、案内を再現する言葉の中には温かい心のこもったメッセージがありました。

今後の学習の流れですが、これまでに学んだことをもとに発信するための成果物を作る予定です。ポスター班、パンフレット班、新聞班、動画班に分かれて、それぞれアイデアを出し合い、作成していきます。出来上がったものは、近隣の小学校やお店、コミュニティーなどへ配布して啓発活動に繋げていきます。

＜岡田さんのお話を聞いての感想です。（抜粋）＞

- 事前に学習した内容を詳しく知りました。深く知るほど、残酷な歴史だと感じます。この歴史を繰り返してはいけないと強く思います。岡田さんの話で、入所者の方の気持ちを想像したとき、子どもを産めなかったり、家族や友人に会えなかったり、辛い思いをしていたんだと思いました。今でも差別がなくなりきっていないかもしれません。だから、少しでもこの話を多くの人に伝えていくべきだと思いました。
- 昔、島内では映画館の席が分けられていました。また、島内の売店では店員が財布からお金を出して、おつりを入れてくれるが、島外では、うちわにおつりをのせて渡していた知り、とても衝撃的でした。岡田さんがその様子を話してくれて、言葉で教えてもらうよりも、入所者の方の気持ちが理解できたと思いました。最後に岡田さんが「まわりに流されないことが大切」と言っていて、日常生活の中でもよくあることなので、自分の意見をきちんと持って相手に伝えていきます。

- 大島に住んでいて入所者の方にとても身近だった方のお話を聞けて本当に良かったです。治療する所に産婦人科と小児科がなかったことを初めて知りました。入所者の悲しみを辛い思いをしながら話している姿を見て、自分まで辛くなりました。私たちが差別や偏見をなくすためにはやはりまず、正しい知識を身につけることが第一だと思いました。岡田さんが言っていた差別や偏見に気づいたとき、間違っているよ！とはっきりと言える人になってほしいとありました。自分も言える人になります。

生徒会役員選挙が行われ、生徒会本部役員が決定しました！

先日、生徒会役員選挙が行われました。2 年生は 7 名が立候補して自分たちの思いや公約を堂々と自信をもって述べました。広報誌や選挙活動、本番の演説では、さすが 2 年生だと感じさせられました。というのも、この北中学校をどのような学校にしたいのか、その具体的な対策や取組まで想いが込められていたからです。本部役員は 3 年生から 2 年生へ繋がれます。これまでの先輩方が築かれた伝統を大切にしながら、新しい生徒会を創造(create)してほしいと思います。

国際交流学習を行います！

11 月中旬には、国際社会において、相手の立場を尊重し、自分の考えや思いを表現できる基礎的な力を育成することを目的として、オイスカ四国研修センターより 6 名(5 か国)の研修生をお招きして、交流会を実施します。内容は、出身国の言語や伝統、文化などに触れること、また実行委員を立ち上げ、一緒に楽しい時間を過ごすことのできるレクリエーションを計画しています。

＜お知らせ＞

- 2 日(木)は先生方の研究大会のため、給食なしの短縮 2 時間授業となります。なお、下校時刻は 10:30 で、部活動も全面中止です。なお、希望者は漢字検定(11:45 終了)が実施されます。
- 27 日(月)より 2 学期期末テストが実施されます。なお、テスト 3 日目の 29 日(水)は、給食があり、6 時間授業となります。